

## 認定こども園評価書

園 名 とみやまこども園  
園長氏名 山本 直子

### 1 自己評価

#### (1) 評価結果の特徴的なもの

保護者アンケート・・・概ね高評価である。11～14の設問については、昨年まで（コロナ禍）は低い数値になっていた。しかしながら、地域との関りも5月以降は増えているようで、大きくプラスとなっている。また〇×だけでなく記述式で自由に意見を寄せて頂いたが、こちらも概ね評価は高いようである。

職員アンケート・・・常勤・非常勤の職員ともに高評価であった。しかしながら設問14の園児の話聞く態度や遊びへの集中度の評価が昨年よりやや低くなっている。

#### (2) 分析・改善方策

保護者アンケート・・・コロナ禍も過ぎ、各家庭でも多くの方と関わることが増えたのであろう。地域での行事も徐々に復活しているので、お便り等で参加を促したことも効果があったと思われる。

記述部分については、今回は具体的に『園行事について』のご意見もお願いしたが、概ね好意的な感想である。本園は子どもの幸せを第一に考えているので、今後も園児の自律や主体性を大切にした教育・保育の重要性を、機会があるごとに保護者に丁寧な説明をしていきたい。来年度は、参観日やクラス懇談等も多く設定し、子ども達の園内での様子が理解できる機会を増やす予定である。また、ブログや保護者メール等での積極的な発信も引き続き行いたい。

職員アンケート・・・フルタイムの職員と短時間の職員がいる中、工夫をしながら保育の理念・目標などの浸透を図った結果が概ね高評価につながったと考えられる。しかしながら現状では、地域の方々・地域学校園との関わりは役職者、5歳担任などに限られているので、来年度は職種・担当年齢に関わらず情報が共有できるよう、職員メール等も活用していきたい。また、他の幼児教育施設や幼・小・中の授業公開や合同研修にも積極的に参加し、子ども理解に努めていきたい。

### 2 学校関係者評価

#### 富山中学校区地域協働学校連絡会

##### (1) 学校関係者評価委員会の実施日とメンバー

実施日：第1回 令和5年6月9日（金）実施

第2回 令和6年2月13日（火）実施

メンバー：保護者、地域住民、地元学校園関係者等（地域協働学校運営協議会を活用）

7月の公開保育に参加した小学校校長・副校長・教頭・教務主任も参加されていた。また、公民館主催の「しゃべり場」という、地域の皆さんに園内を見て頂く機会を10月19日（木）に実施した時に参加して下さった富山公民館館長・児童民生委員も、この会に参加をしている。

(2) 自己評価に対する学校関係者委員の評価（第2回目に実施）

各学校園が10分程度で説明をする。児童、保護者そして教職員アンケートの結果を基にする。それぞれの委員さんからその結果やご意見を以下の様に伺えた。

- こども園の保護者アンケートの記述部3枚目下から17行目の親子での行事で大変保護者も喜ばれているようです。以前もこども園の行事を参観したことがありますが、保護者の皆さんも熱心でした。今でもそのような感じですか？  
(園長回答：はい、コロナ禍で行事も縮小・変更しましたが、やはり保護者の皆さんは熱心で園の活動にも協力的です。お父さんお母さんが卒園児で、その子どもさんも在籍されている方も多くいます。園への理解もあり、大変助かっています。)
- 様々な会議に出席しますが、岡山市内でも公立・私立の学校園が一緒になってこのような活動や連携を取っているのはめずらしい。とても良い事だと思う。
- 交通安全の連携をしていきたい。保護者会やPTAとも協力していきたい。
- 避難訓練はされていますか（学校園回答：はい、しています）
- 各学校園ともに、地域行事に参加のポイントが低いので、どのように地域と保護者・子どもをつなげていくかが、課題ですね。子どもを通じて親もつながってくると思う。
- 地域の集いの場が必要。公民館を中心に子どもや大人が参加できる活動も立ち上げている。
- 各学校や団体の活動が知れてうれしい。
- 各種団体や学校園も色々してくれていることを保護者に伝えられていない。理解を深めてもらうためにはどのようなすればよいか。

**とみやまこども園学区教職員向け公開保育**

(1) 実施日：令和5年7月24日（月）～28日（金）の5日間

メンバー：富山中学校区学校園教職員

(2) 評価については別紙アンケートに記入していただき、そちらを集計した。幼児教育と小学校との接続も双方が努力をしているが、お互いに理解をしていないことが多い事に今更ながら気づかされる結果であった。今まで3年間ストップしていた交流や連携も進めていきたい。

**「みんなのしゃべり場」（岡山市立富山公民館主催行事）**

(1) 実施日：令和5年10月19日（木）

メンバー：とみやまこども園園長、富山公民館館長、公民館担当者、民生児童委員、その他地域住民の方々

(2) 評価については別紙アンケートに記入して頂き、そちらを集計した。年齢も幅広い方々が参加し、園にとっても貴重なご意見を沢山いただけたことはいずれの限りである。

### 3 来年度の重点取組 ※全体的な計画に係る指導の重点との関連で記入する。

・子どもの「自律性」を育てるという園の教育・保育目標に向かって職員一同、引き続き協力して行う。子どもが何を考え行動しているのかを理解するためにも研修は欠かせない。勤務の形はそれぞれであるが全職員が共通の理念のもとに子ども・保護者と関われるような職員集団を作っていきたい。また、本園では0歳児から5歳児までの各年齢の発達を踏まえた保育・指導を行っているが、この年齢の子どもの理解だけでなく、もっと広い視野を持って各学校園と、学区内で過ごす0～15歳の子どもの縦の連携も深めていきたい。もちろん我々は、個々の子どもの個性を捉えながら、発達に即した支援を行うが、長時間園で過ごす子どもも多いので、明るく穏やかな家庭的な雰囲気の中、保育教諭や子ども同士の相互作用を通して様々な経験を積み、子どもの自律へとつなげていく。ここ数年、コロナ感染症予防の為、制約されるものもあったが、状況を見ながら創意工夫で子ども達が、充実した園生活を送れるよう行事の見直しも図っていききたい。

また、子どもの発達・成長には環境や周囲の大人との関係も大きく影響してくるので、家庭での親子の関わり（愛と信頼関係）、園での先生やお友達との関係（集団の中で専門職による教育・保育）のそれぞれの大切さや違いも保護者に発信する機会を設けていく。

特筆すべき点として富山中学校区ではここ20年来、4つの学校園（公私立の垣根を越えて）が連携して子どもの育ちを支えている。国がすすめている「架け橋プログラム」（5歳児と小学校1年生をつなげる、教職員同士がお互いの教育内容や子どもの成長について学び、理解を深める意義あり）についても、岡山市内は全体的に動きが遅い中、当学区ではいち早く「とみやまこども園」、「富山幼稚園」、「富山小学校」が連携を取り、検討会・合同研修や授業（保育）参観を実施している。子ども達が学校園を卒業した後にも、縦の連携がとれる関係性を維持している。来年度も積極的に他の学校園、地域の各種団体との連携を計画している。

しかしながら、本園を卒業した子どもたちは、複数の小学校へ分かれて進学しているので、学区を越えて岡山市内の幼児施設と小学校が連携できるような組織づくりを今年度スタートさせた。こちらも関係機関と連携を取りながら進めていきたいと考えている。